様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校名古屋デザイナー学院
設置者名	学校法人Ａｄａｃｈｉ学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養	グラフィックデザイン学科	夜・通信	200 単位	6 単位	
	イラストレーション学科	夜・通信	200 単位	6 単位	
	マンガ学科	夜・通信	200 単位	6 単位	
	アニメーション学科	夜・通信	200 単位	6 単位	
	ゲーム・CG 学科	夜・通信	200 単位	6 単位	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	168 単位	6 単位	
	造形デザイン学科	夜・通信	200 単位	6 単位	
	ファッションデザイン学科	夜・通信	168 単位	6 単位	
	研究学科	夜・通信	84 単位	3 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.n-designer.net/　情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名　該当なし
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校名古屋デザイナー学院
設置者名	学校法人Ａｄａｃｈｉ学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

名古屋総合事務局にて、申請により閲覧可

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社取締役（現職）	2021/8/4 就任 2025/8/4 任期満了	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役（現職）	2021/8/4 就任 2025/8/4 任期満了	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校名古屋デザイナー学院
設置者名	学校法人Ａｄａｃｈｉ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

・授業計画（シラバス）の作成過程

→実施年度の前年 12 月末までに人員構成・年間（前後期）の学科授業計画を策定する。

【シラバス作成過程】
① 学科長・担任によりカリキュラム案を作成
② 上記案を「教育課程編成委員会」にて評価・改善・修正
③ 次年度カリキュラムを作成
④ カリキュラム実施にあたり、業界のエキスパートから講師を募集・人選
⑤ 授業担当講師と学科長・担任により学科会議を開催、方針・目標を確認
⑥ 担当講師がシラバス案を作成
⑦ 学科長が教育効果を判断し、改善・修正
⑧ 学科長より校長へ提出　最終決済とする

・授業計画の作成・公表時期

→実施年度における前期・後期ごとに、授業開始前、学科ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝにて公表（前期４月上旬、後期９月下旬）する。

【シラバス公表】
・次年度授業計画を入学検討者・資料請求者へ配布・説明
・実施年度　学生・保護者に学科長・担任より配布・説明
・その他　（高校・日本語学校等）依頼を受けた教育機関へ配布・説明

授業計画書の公表方法	https://www.n-designer.net/ 情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

【成績評価への取り組み】

あらかじめ授業計画（シラバス）で到達目標を明確に定め、学生に伝達する。
またテストでの評価の他に、学生の長所を複数の観点で評価、学科長・担任が授業・実習成果を確認することで、偏りのない成績評価を行う。
また学校長が授業オブザーバーとして適宜　授業参観を行い、学生の学修意欲を把握、客観的な視点で教育環境の維持・改善・に努める。

単位認定と成績基準

1.各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準に満たした者について単位を認める。

2.成績評価について
総合得点（満点 100）５段階評価：上位よりＳ/Ａ/Ｂ/Ｃ/Ｆにて判定

3.成績評価の方法
課題制作評価、作品提出評価、期末試験評価、出席評価、授業内平常評価を総合し、得点を算出

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

【GPA 制度の概要】

S・A・B・C・F の 5 段階成績評価を
S＝4.0　A＝3.0　B＝2.0　C＝1.0　F＝0　とし、GP に変換し、
当該期間における各学生の全履修科目の平均 GP を GPA として算出する。
学科ごとに GPA 分布を作成し、学生の成績現状を把握する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.n-designer.net/ 情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

<table>
<tr><td colspan="2">（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定
卒業の認定には、次の条件を必要とする。

1.原則として卒業に必要な単位数を取得していること。
卒業に必要な単位数
昼間部 2 年制:120 単位、昼間部 1 年制:研究学科:60 単位

2.出席日数が年間を通じて3分の2以上であること。

3.所定の学費が完納していること。

【卒業認定会議】
補講・再試験・特別補講・特別試験終了後、卒業必要単位数に満たない者については、学務卒業認定会議を経て、昼間部 2 年始 108 単位以上で卒業と認定する場合がある。</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>https://www.n-designer.net/
情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能</td></tr>
</table>

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校名古屋デザイナー学院
設置者名	学校法人Ａｄａｃｈｉ学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	名古屋総合事務局にて、申請により閲覧可
収支計算書又は損益計算書	名古屋総合事務局にて、申請により閲覧可
財産目録	名古屋総合事務局にて、申請により閲覧可
事業報告書	名古屋総合事務局にて、申請により閲覧可
監事による監査報告（書）	名古屋総合事務局にて、申請により閲覧可

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	グラフィックデザイン学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	120 単位	単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 104/単位
			200 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	104 人	0 人	2 人	8 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。

卒業の認定
卒業の認定には、次の条件を必要とする。
1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。
   卒業に必要な単位数
   昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位

2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。
3. 所定の学費が完納していること。

学修支援等

（概要）
学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
－人（100%）	－人（　　%）	－人（　　%）	－人（　　%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）
ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策

（主な学修成果（資格・検定等））
産学連携による商品化成果案件

（備考）（任意記載事項）
2022 年度開始学科にて卒業生記録はございません。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	7 人	14.2%

（中途退学の主な理由）
学業不振、進路変更、精神的理由

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導

①学科等の情報　イラストレーション学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	イラストレーション学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼		単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 104/単位
２年		120 単位	200 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	42 人	0 人	1 人	3 人	4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。
１年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。

成績評価の基準・方法

（概要）
各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。

卒業・進級の認定基準

（概要）
進級の認定
1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。
　進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位
2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。
3. 所定の学費が完納していること。

卒業の認定
卒業の認定には、次の条件を必要とする。
1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。
　卒業に必要な単位数
　昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位
2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。
3. 所定の学費が完納していること。

学修支援等

（概要）
学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他

－人 （100%）	－人 （　　%）	－人 （　　%）	－人 （　　%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による商品化成果案件			
（備考）（任意記載事項） 2022 年度開始学科にて卒業生記録はございません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	6 人	20.6%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士）による適時個別面談・指導		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
文化・教養		専門課程	マンガ学科			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	120 単位	単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 104/単位
			200 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	221 人	0 人	5 人	9 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。

卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1.　原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 　　進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2.　出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3.　所定の学費が完納していること。 卒業の認定 卒業の認定には、次の条件を必要とする。 1.　原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 　　卒業に必要な単位数 　　昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位 2.　出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3.　所定の学費が完納していること。
学修支援等
（概要） 学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
88 人 （100%）	2 人 （　　2.3%）	85 人 （　　96.6%）	1 人 （　　1.1%）
（主な就職、業界等） マンガ家、イラストレーター			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による商品化成果案件			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
200 人	10 人	5.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神的理由、経済的理由		

（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門課程	ゲーム・CG 学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼		単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 104/単位
２年		120 単位	200 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	107 人	0 人	2 人	6 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。 卒業の認定 卒業の認定には、次の条件を必要とする。 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 卒業に必要な単位数 昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。
学修支援等

（概要）
学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
65 人 （100%）	0 人 （ 0%）	57 人 （ 87.7%）	8 人 （ 12.3%）
（主な就職、業界等） ２D デザイナー、３DCG デザイナー、プランナー			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による商品化成果案件			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
136 人	9 人	6.6%
（中途退学の主な理由） 学校生活不適応、進路変更、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門課程	アニメーション学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	120 単位	単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 104/単位
			200 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	67 人	0 人	2 人	5 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。 卒業の認定 卒業の認定には、次の条件を必要とする。 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 卒業に必要な単位数 昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。
学修支援等
（概要） 学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 （100%）	2 人 （　8.3%）	19 人 （　79.2%）	3 人 （　12.5%）

（主な就職、業界等）
アニメーター、制作進行・仕上げ・撮影：各スタッフ

（就職指導内容）
ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策

（主な学修成果（資格・検定等））
産学連携による商品化成果案件

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65 人	1 人	1.5%
（中途退学の主な理由） 死亡		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
文化・教養		専門課程	インテリアデザイン学科			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	120 単位	単位時間 8/単位	単位時間 /単位	単位時間 88/単位	単位時間 /単位	単位時間 72/単位
			168 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	37 人	1 人	1 人	4 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。 卒業の認定 卒業の認定には、次の条件を必要とする。 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 卒業に必要な単位数 昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。

3.　所定の学費が完納していること
学修支援等
（概要） 学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 （100%）	0 人 （　　0%）	12 人 （　75.0%）	4 人 （　　25.0%）
（主な就職、業界等） インテリアデザイナー、インテリアコーディネーター			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5.0%
（中途退学の主な理由） 学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門課程	造形デザイン学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	120 単位	単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 104/単位
			200 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	23 人	0 人	1 人	5 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。 卒業の認定 卒業の認定には、次の条件を必要とする。 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 卒業に必要な単位数 昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること
学修支援等
（概要） 学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策			

（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による商品化成果案件
（備考）（任意記載事項） 2022 年度開始学科にて卒業生記録はございません。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 該当なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門課程	ファッションデザイン学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	120 単位	単位時間 32/単位	単位時間 /単位	単位時間 64/単位	単位時間 /単位	単位時間 72/単位
			168 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	28 人	0 人	1 人	4 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各業界分野に就職・デビューを目指す２年間の授業計画を策定。 １年６０単位（前後期）２年６０単位：合計１２０単位の修得を基準とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級の認定 1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位 2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3. 所定の学費が完納していること。 卒業の認定

卒業の認定には、次の条件を必要とする。 1.　原則として卒業に必要な単位数を取得していること。 　　卒業に必要な単位数 　　昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位 2.　出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。 3.　所定の学費が完納していること
学修支援等
（概要） 学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 （100%）	0 人 （　　0%）	15 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） ファッションデザイナー、ファッションパタンナー、スタイリスト			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導、書類対策、面接対策			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による商品化成果案件			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	4 人	11.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神的理由、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導		

① 学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">研究学科</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">60 単位</td><td>単位時間
16/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
36/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
32/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">84 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	4 人	0 人	1 人	2 人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
各業界分野に就職・デビューを目指す１年間の授業計画を策定。
１年：６０単位（前後期）の修得を基準とする。

成績評価の基準・方法

（概要）
各科目について課題制作・作品提出・期末試験評価、出席評価・授業内平均評価を総合し、所定の基準を満たした者について単位を認める。

卒業・進級の認定基準

（概要）
進級の認定
1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。
   進級に必要な単位数　昼間部２年生：６０単位
2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。
3. 所定の学費が完納していること。

卒業の認定
卒業の認定には、次の条件を必要とする。
1. 原則として卒業に必要な単位数を取得していること。
   卒業に必要な単位数
   昼間部２年制：１２０単位、昼間部１年制：研究学科：６０単位
2. 出席日数が年間を通じて３分の２以上であること。
3. 所定の学費が完納していること。

学修支援等

（概要）
学生に対する半期面談、場合によっては適時個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

5 人 （100%）	0 人 （　0%）	5 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） グラフィックデザイナー・工業デザイナー・キャラクターデザイナー			
（就職指導内容） ポートフォリオ作成指導・書類対策・面接対策			
（主な学修成果（資格・検定等）） 			
（備考）（任意記載事項） 			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	16.7%
（中途退学の主な理由） 帰国		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・カウンセラー（臨床心理士による適時個別面談・指導		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
グラフィックデザイン学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
イラストレーション学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
マンガ学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
アニメーション学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
ゲーム・CG学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
インテリアデザイン学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
造形デザイン学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000

ファッションデザイン学科	150,000 円	840,000 円	210,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥4,000
研究学科	50,000 円	360,000 円	80,000 円	入学時徴収する経費 ・校友会費　￥10,000 ・損害保険料￥2,000
修学支援（任意記載事項）				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.n-designer.net/ 情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
・主な評価項目 「専修学校におえる学校評価ガイドライン」に基づく項目と対応は以下とする。

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 学校の理念・目的・育成人材像はさだめられているか
	2 学校における職業教育の特色は何か
	3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
	4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生保護者等に周知されているか
	5 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2)学校運営	1 目的等に沿った運営方針が策定されているか
	2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
	3 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化され有効に機能しているか
	4 人事、給与に関する規定等は整備されているか
	5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
	6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備 されているか
	7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
	8 情報システム化等による業務の効率化がはかられているか

(3)教育活動	1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
	2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているのか
	3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているのか
	4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか
	5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等がおこなわれているか
	6 関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ実技、実習等)が体系的に位置づけられているか
	7 授業評価の実施・評価体制はあるか
	8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
	9 成績評価・単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか
	10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
	11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
	12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか
	13 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
	14 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4)学修成果	1 就職率の向上がはかられているか
	2 資格取得率の向上がはかられているか
	3 退学率の低減が図られているか
	4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
	5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5)学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
	2 学生相談に関する体制は整備されているか
	3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
	4 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか
	5 課外活動に対する支援体制は整備されているか
	6 学生の生活環境への支援はおこなわれているか
	7 保護者と適切に連携しているか
	8 卒業生への支援体制はあるか
	9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
(6)教育環境	1 施設・設備は教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか
	2 学内外の実習施設、インターンシップ海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
	3 防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	1 学生募集活動は、適正に行われているか
	2 学生募集活動において教育効果は正確につたえられているか
	3 学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
	2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
	3 財務について会計監査が適正におこなわれているか
	4 財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
	2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
	3 自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか
	4 自己評価結果を公開しているか

(10)社会貢献・地域貢献	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか
	2 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか
	3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	1 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っておこなっているか
	2 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がおこなわ
	3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
	4 学修成果が国内外で評価される取り組みをおこなっているか

・主な評価項目（学校評価ガイドライン 11 項目）

（1）教育理念・目標（2）学校運営（3）教育活動（4）学修成果（5）学生支援
（6）教育環境（7）学生の受入れ募集（8）財務（9）法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献（11）国際交流　　を具体的に教育課程、
進路指導など（学校が設定する評価　62 項目）に別け評価する

・評価委員の構成

→設置分野に関する業界団体、業界企業、卒業生代表、地域住民代表、
その他（財務監査系）より各 1 名選出した構成

・評価結果の活用方法

→学校関係者委員会は、学校関係者評価結果報告書にまとめ、学校へ提出
→校長はその評価・助言を次年度の学校運営に反映することとする

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
(一社)観光スケッチ協会　理事 亀﨑　敏郎	2021/4/1～2024/3/31	業界団体
(株)インパクトたき　総務部長 坂本　隆	2021/4/1～2024/3/31	業界企業
(株)画房社　代表取締役 河村　寛喜	2021/4/1～2024/3/31	卒業生代表
名古屋栄東まちづくりの会　顧問 田島　治郎	2021/4/1～2024/3/31	地域住民代表
税理士法人横須賀・久保田　社員 久保田　一成	2021/4/1～2024/3/31	会計士

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.n-designer.net/
情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能

第三者による学校評価（任意記載事項）

第三者評価は実施しておりません。

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.n-designer.net/
情報公開（最下段：項目）にて閲覧可能